Vol. 09

whats up!

Niigata University of International and Information Studies.

Mizuki Journal

2004.12

新潟国際情報大学長
武藤輝一

>>>頑張っていますか?

同窓会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。6月に同窓会冊子をお送りした後、7月の県央地区を中心とした水害更に10月の中越地方の地震と現在まで続いている余震で、大変でした。被災された同窓の皆様と在学生並びにそのご家族の皆様にお見舞い申し上げます。地区によっては全住民の方々が、生まれ育った土地を離れ、他の土地に家を求めることにされたようです。その心情推察申し上げております。被災された皆様、へこたれずに頑張って下さい。

ご存知のように本学の卒業生は2,000名を超えました。本年春の卒業生も新潟県内での就職を希望する人が多く、首都圏に比べ新潟県内での景気回復が遅れていたため、残念ながら就職率は例年よりやや不良でありました。しかし、明年春の卒業生の就職率については、現在までの内定率から見まして従前の就職率まで回復するものと思っております。同窓の皆様からもご支援頂きたいと存じております。

昨年増築された情報センター(図書館を含む)及び新設の国際交流センターは順調に使用されています。中央キャンパスでの生涯学習講座には本学の学生及びその家族の方々や同窓会員の方々も参加され、好評であります。本学関係者の方々の受講料は割引されています。どうぞご利用下さい。昨年春の入学生から新しいカリキュラムが実施されます。本学発足以来2回目のカリキュラム改訂ですが、教育内容が社会に出てより良く役立つようにと考えた結果であります。以上、被災された皆様へのお見舞いと本学の近況を申し上げました。

皆様の新しい年での益々のご活躍を祈念致しております。

>>>震災にあたり

10月23日の新潟県中越地震により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被害の爪あとは尋常ではなく、家屋の倒壊・地盤の崩落など過去にない被害に見舞われ、また、終息傾向にありつつも未だに続く余震に不安をもちながら、復興にむけ心身ともにお疲れのこととお察し致します。

水害といい地震といい、今年の新潟はつらすぎます。緊急事態に何もできない自分自身を情けなく思いつつも、同窓会として何かお手伝い出来ることがございましたら、遠慮なくご連絡ください。最大限の復興支援にご協力させていただきます。

それでは、これから冬に向かいめきめきと寒くなりますので、くれぐれも健康にはご留意され、一日も早い震災復興と、よいお年を迎えられますようお祈りいたします。

みずき会会長
高橋 毅

Information

第11回紅翔祭

去る10月23日(土)24日(日)に第11回紅翔祭が行われました。

23日は天気も良く、校舎内では意匠を凝らした展示やイベントが行なわれ、外に目を向けても様々な露店が建ち並び、熱気を帯びた呼び込みの学生の声が響き渡るなど活気に溢れていました。翌日の24日は地震の影響もあり、講演会などのイベントが残念なことに中止になりましたが、地震に負けずに学生たちは日々の研究成果などの発表を元気よく行っていました。このような時こそ、学生の若さ溢れるパワーで新潟全体を活気づけて欲しいものです。同窓会の皆さんも後輩の活躍を確かめに、来年の紅翔祭に足を運んで見てはいかがでしょうか?

新潟中央キャンパス

■ 開館時間/月~金 9:00~20:00 土 9:00~17:00

皆さん、中央キャンパスを利用してみませんか??

学生はもとより1階・2階は卒業生や学外の方にもご利用頂けます。是非、お近くにお越しの際はご利用下さい。

1階
- 学生ホール
- 資料展示室
- カフェテリア「YOU&I」・無線LAN

2階
- 情報・図書室
- 閲覧コーナー
- 情報検索コーナー・無線LAN
- 校友室「みずきサロン」
- 事務室

ラウンジ

1200冊の図書が配架されており自由に閲覧できる他、貸し出しもおこなっています。また、情報検索用のパソコンも配置されており、常時インターネットに接続可能で無料で利用できます。

新潟市上大川前通7番町1169番
TEL. 025-227-7111 FAX. 025-227-7117

総会・懇親会の報告

皆さんいかがお過ごしでしょうか？７期生の皆さんお元気ですか？７期卒業生の西村信人です。早いもので大学を卒業してからもう半年以上が経ち、新生活にも慣れてきたかと思います。私はというと、どうも学生気分が抜けきれていないようで「大人」として社会に出てからというもの悪戦苦闘の日々を過ごしています。

去る６月26日（土）に古町の中央キャンパスにて総会が行なわれ、100名を越す同窓生が集まりました。また小澤理事長はじめ各学科教授、事務局員の方々にも参加していただきました。みずき会会長である高橋毅さんの挨拶で総会は始まり、監査役員より平成15年度の役員事業及び収支決算・平成16年度の予算案の報告、そして新副会長として坪谷健さんの新任などの報告があり、総会にて同窓生の皆さんから承認をいただきました。ありがとうございました。その後、場所を食堂に移して懇親会が開かれ、各々学生時代の思い出話や近況報告に花を咲かせていました。久しぶりに会う友達や教授とは話が尽きなかったようでとても賑やかな会となりました。

今回の総会は１期生～４期生の参加が多く、７期生の参加が一番少ないという結果となりました。卒業してまだ間もない６月とはいえ７期生の参加人数には寂しいものがあったので、次回の総会には是非沢山の方に参加して頂きたいと思っています。

最後に今回ご参加くださいました方々、誠に有難うございました。次回の総会もより多くの卒業生にご参加くださるよう、役員一同努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

平成15年度事業・収支決算

[平成15年度事業報告（平成15年4月1日～平成16年3月31日）]

15年	4月12日	役員会	16年	2月 7日	役員会
15年	5月17日	役員会	16年	2月	会報の発行
15年	6月28日	総会	16年	3月23日	卒業式出席(役員)
15年	7月	会報の発行	16年	3月28日	役員会
15年	10月18日	文化講演会開催(紅翔祭)			

[平成15年度収支決算報告（平成15年4月1日～平成16年3月31日）]

●収 入

（単位 円）

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考
会 費	18,000,000	11,250,000	▲6,750,000	入会金 30,000円×375名
利 息	10,000	279	▲9,721	
合 計	18,010,000	11,250,279	▲6,759,721	

●支 出

（単位 円）

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考
機関紙制作費	500,000	399,000	▲101,000	2回
総会費	150,000	22,669	▲127,331	
事業費	300,000	300,000	0	紅翔祭文化講演会
通信・印刷費	600,000	602,786	2,786	切手・はがき・封筒・振込み用紙等
会議費	100,000	59,328	▲40,672	役員会等
交通費・旅費	150,000	84,660	▲65,340	
雑 費	150,000	249,874	99,874	生花等
関東支部補助	200,000	29,000	▲171,000	
積立金	15,860,000	9,502,962	▲6,357,038	
合 計	18,010,000	11,250,279	▲6,759,721	

●積立金

（単位 円）

11年度	6,364,344
12年度	9,699,858
13年度	10,257,107
14年度	10,029,754
計	36,351,063

平成16年度事業・収支予算

[平成16年度事業（平成16年4月1日～平成17年3月31日）]

16年	5月16日	役員会	16年	10月23日	文化講演会開催(紅翔祭)
16年	6月 1日	会報の発行	17年	1月10日	会報の発行
16年	6月19日	役員会	17年	2月 5日	役員会
16年	6月26日	総会	17年	3月23日	卒業式出席（役員）
16年	9月11日	役員会	17年	3月27日	役員会

[平成16年度収支予算（平成16年4月1日～平成17年3月31日）]

●収 入

（単位 円）

項 目	予算額	備 考
会 費	7,500,000	入会金 30,000円×250名
利 息	500	
合 計	7,500,500	

●支 出

（単位 円）

項 目	予算額	備 考
機関紙制作費	500,000	年2回
総会費	150,000	
事業費	400,000	紅翔祭文化講演会
通信・印刷費	700,000	切手・はがき・封筒・振込み用紙等
会議費	150,000	役員会等
交通費・旅費	150,000	
雑 費	100,000	入学式、卒業式生花等
関東支部補助	200,000	
積立金	5,150,500	
合 計	7,500,500	

Niigata University of International and Information Studies

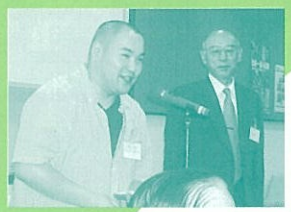
Business, income and costs statement of accounts

[平成15年度 事業・収支決算報告]

Niigata University of International and Information Studies

Graduate's activities

［同窓生の活動］



同窓生が大学に寄附

同窓生同士で活動している「問題G」という団体から、大学に対して寄附の申し出があり、今回メンバーを代表し佐藤公彦さんから武藤学長に寄付金が手渡されました。この団体は大学を通して知り合った仲間同士で年に何回か集まり懇親会をされているそうで、今回、なぜ大学に対して寄附をしたかというと、知り合った友人たちは新潟国際情報大学での学園生活で巡り会う事ができ、今現在も交友があるのは大学のおかげであるとの理由で、なにか大学のためにやれることはないかと考えたところ、寄附という形で恩返しをすることにしたそうです。

寄付団体

団体名	メンバー名				
問題G	風間	晋	落合	幸雄
	佐藤	公彦	本間	直樹
	木口	祐一	寺崎	修平

原口武彦教授

宗澤拓郎教授

最終講義

開学より大学に勤務され、私たちも大変お世話になりました、原口先生・宗澤先生が定年を迎えられ退任をされることとなりました。

両先生の退任にあたり最終講義が下記の通り開催されます。

どなたでも参加いただけますので、大学時代を思い出しながら先生の話を聞きませんか。

1人でも多くの卒業生の皆さんから参加いただき、最終講義を盛り上げましょう。

■日時　平成17年2月5日（土）
■会場　新潟国際情報大学　本校　240教室

原口武彦教授（情報文化学科）
13：00～14：00　演題「私の70年」

宗澤拓郎教授（情報システム学科）
14：30～15：30　演題「SWANのあゆみ」

どなたでもご参加いただけます。当日直接会場へお越し下さい。

Niigata University of International and Information Studies

Retirement from office commemoration lecture

Niigata University of International and Information Studies

Letters from Graduates

［同窓生の声］

第7期卒業生（2003年度）
情報システム学科
細川かおり

今年の4月1日に（株）BSNアイネットに入社しました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、わが社は新潟県IT業界のリーディングカンパニーとして官公庁・地方自治体、医療、保健福祉、民間など様々な分野で、情報システムの企画から開発、保守までをトータルサポートしている会社です。

入社後すぐに始まった新人研修では、PowerPointを使って自己紹介をしたり、WordやExcelの宿題があったりと、新潟国際情報大学で習ったことを存分に活かすことができました。また、ネットワーク、一般教養、データベース、Web開発、財務会計なども勉強しました。Web開発では社内向けのシステムを開発することになり、入社1ヶ月で納期のある仕事を任されました。実際に業務でシステムを使う担当者と打合せをしながらの開発だったので、新人の私たちにはとても貴重な経験となりました。

6月にSEとしてシステム技術部に配属になりました。この部署では新技術の情報収集・調査・開発、各部門のサポート、社内外の研修の講師、新商品の開発などが主な業務です。一番苦労した仕事は、民間企業のグループウェアのインストール手順書を作成したことです。他部門の人がその手順書を使って現場で作業するということで、新人の私にできるのかとても不安でした。グループウェアを使っている環境を確認するために、企業訪問をしました。そして社内で同じ環境を構築し、何度も検証しながら手順書を完成させました。すでに現場での作業は始まっていますが、今のところ大きな問題もなく順調に進んでいます。現在は自治体のグループウェアのバージョンアップの検証や市町村合併に伴うグループウェアのマニュアル作成をしています。

良い仕事をするには、いつも向上心をもって取り組むことが大切だと実感しました。今後は積極的に資格を取得し、いつも笑顔を忘れずに前向きに仕事をしていきたいと考えています。

dousou@nuis.ac.jp

あなたの投稿をお待ちしています。

みずき会報では、同窓会の皆さんの投稿を募集しています。最近気になることや会社でのエピソード・近況報告など、どんなことでも構いません。上記の要領でみずき会事務所へお送り下さい。皆さんのご投稿をお待ちしています。

Voice

情報文化学科教授
澤口晋一

中越地震に思うこと

この原稿を書こうとしてパソコンにスイッチを入れ、「さあ、何を書こうか…」と思案し始めたまさにそのとき大地は大きくゆらいだ。ドカっとグラっがほぼ同時だ。P波もS波もない。直感的にどこか近くの活断層が動いたと思った。海で起こる地震のゆれでは決してない。とっさに外に飛び出していた女房と娘の無事を確認し、近所の人と短い言葉を交わし、家の中に入った。新潟市のごく近くならいいが、ちょっと離れたところが震源だったらこれは相当やばいのではないかと思いつつテレビのスイッチを入れた。その瞬間、またしても家が大きくかしいだ。同じようにデカいゆれだ。意表を突かれた感じだ。テレビでは中越地方に大きな地震というテロップが出ている。中越地方、長岡か!と思った。ゆれもおさまり、テレビの地震速報にしばらく見入っていると、今度は見ていたテレビラックが大きくゆがんだ。なんと第3波だ。15分おきぐらいに同じような大きさの地震が続けて3度発生するというのはどういうことか。地震学の教科書にもこんなこと載っていなかった。後の2回は余震だというが、すべて本震といってもおかしくないようなゆれかただった。

実は長岡・小千谷、十日町といった地域はわが国屈指の活断層集中地域である。地質学的にはいつ地震が起こっても不思議のない地域である。今回の地震はそうした地域の未確認だった活断層が動くことで発生した。山古志はその活断層のほとんど真上に位置する村だった。長岡・小千谷の被害も尋常ではない。阪神淡路大震災を思い出さずにはいられない。阪神淡路では激甚被害を受けた地域、なかでも中小木造家屋が壊滅的に倒壊した所はある土地条件で一致していた。それはかつての潟や河道が後に埋積された所だった。長岡、小千谷はどうだったのか。気になる。こうした自然的土地履歴をもつ所は、居住不適地と考えられ昔から水田として利用されてきたのだ。しかし、近年の市街地拡大はそうした土地をも居住地に替えてしまった。このような土地は実は水害にも弱い。三条はどうだったのだろう。新潟市内でも同様の土地履歴を持つところが新潟地震以降急激に市街地化している。

自然的土地条件とか土地履歴と自然災害といったことを話すと、私にはよくわからないという反応を示す人が多い。本学の授業でもそういう雰囲気をよく感じる。しかし、土地条件を知らないということは、浮き草の上に乗ってそこが頑丈な岩盤の上だと勘違いして気づかずにいるようなものだ。これからも新潟に暮らし、新潟に生きていく皆さんにとって土地条件は知らないで済まされることでは決してないのだ。いずれは土地を買い家を建て、そこで永く生活していくのである。あなたが暮らす、あるいは将来暮らす場所を決めるに際して、駅が近いとか土地が安いとかいうことだけを規準にせず、その場所が本来的にもつ土地の条件を、この際よく調べてみてはいかがだろうか。その際、国土地理院発行の土地条件図は強力な助っ人になるはずだ。

それにしても、卒業生は、そしてそのご家族の皆さんは大丈夫だったのだろうか?被災し避難所生活を余儀なくされた（している）人も恐らくいるのではないだろうか。心配だ。もしいればどうか頑張ってもらいたい。

Hi Guys!

「みんな元気か～い?」

Voice

情報システム学科教授
宗澤拓郎

ネットワークをつくって世界に飛翔しよう

開学以来早や11年、共に創学の苦労をした1期生、2期生の時代は変わり、もう12期生を決める時期になりました。あの海からの激しい砂交じりの北風に悩まされた数年間はまるでうそのように変わり、学校の周辺にも家が立ち並び、どうやら落ち着いた街に変わってきたこの頃です。

私も今期限りでハッピー・リタイヤメントしますが、お陰様で赤塚での11年間の教員生活を楽しませていただき、君達とも友達になれ、今やこの新潟もすっかり第2の故郷となりました。本当に新潟は海と山、それに温泉と、自然に恵まれ、食べ物もおいしい魚、お米、そしてお酒、と何でもあります。東京の人間は皆、「新潟って雪が降ると、2階の窓から出入りしているんだってね」と思っています。しかし冬は冬で、スキーに温泉三昧と、すっかりエンジョイさせてもらったこの10年間です。

自称オジンの暴走族としては、この自然の中を北に南に東に西に走り回り、それが車検場にも通じたのか、ご親切にも「も・840」（もっと走れ）という名誉な(?)番号をいただきました。これからも大いに世界を走り回ろうと思っていますので、道で見かけたらぜひ合図してください。

そう赤塚といえば白鳥。先日10月初めの朝、大学に着いてふと上を見ると、先頭の1羽が「クワッ、クワッ」と鳴きながら10羽程隊形を組んで佐潟の方へ飛んで行くのを見かけました。あれははるばるシベリアからやってきた白鳥で、リーダーが、「きっともう直ぐだから頑張れよ」、といっているに違いないと思いました。

私は毎朝田んぼへ餌取りに出勤する白鳥の群れにあこがれて、SWANゼミと名づけたものです。SWANはStrategic World Area Network（戦略的国際ネットワーク）の略です。この大学では語学と情報技術を身に付け国際的に活躍する人を育てることを目的としています。これは時代に合った理念で、社会に出て活躍している諸君は、まさにこのことを実感していると思います。国際的な観点から、戦略的にこの大学関係者のネットワークを作って、ぜひ地元新潟県の発展に貢献して下さい。

今後も立派に育ったスワンが社会に飛び立って、大いに活躍してくれることを祈っています。

Hi Guys!

「みんな元気か～い?」

Niigata University of International and Information Studies

Club Report

［部活動報告］

Badminton

バドミントン部 男子全国大会出場！

情報システム学科3年　木村一貴

私は大学入学以前から「インカレ出場」を目標にしていた。高校では納得のいく結果を出せず「大学で必ず」という気持ちを持っていました。大学に入り毎日のハードな練習を積み重ねインカレ出場を懸けた試合に試み、部員一丸となって出場権を勝ちとった。その時の嬉しさは強く印象に残っています。

インカレ出場を決め、部活には活気が出て、一人一人のモチベーションも高く集中して練習でき、最高の状態で試合にのぞみました。

部員のほとんどが初めて経験する全国の舞台は今まで感じたことのない雰囲気でした。

それでもみんな大声で応援し、選手一人一人が今まで練習してきた成果を発揮する事が出来た試合だったと思います。しかし残念ながら初戦敗退という結果に終わりました。

私達がインカレに出場したことは必ず次のステップアップになると思う。インカレに出場したことだけに満足せず、インカレで勝つことを目標に日々の練習をもっと大切にして頑張っていきたい。

バドミントン部男子は創部11年目にして初めてつかんだ全国大会出場がこれから伝統となるように取り組んでいきたいと思います。

Badminton

●第55回秩父宮・秩父宮妃争奪日本学生バドミントン選手権大会

平成16年10月　全国大会優勝

男子団体試合結果

●第一試合 法政大学

新潟国際情報大学	0－3			法政大学
長谷川	0（1−15 8−15）2			姫野
阿部	0（2−15 7−15）2			本間
川上 木村	0（13−15 5−15）2			畑山 岩堀

男子ダブルス試合結果

●第一試合 近畿大学

新潟国際情報大学	VS			近畿大学
川上 木村	2（15−4 15−12）0			守屋 松浦

●第二試合 近畿大学

新潟国際情報大学	VS			日本大学
川上 木村	0（9−15 5−15）2			中尾 数野

●第49回北信越大学バドミントン選手権大会

平成16年11月　男女団体1部　4位

Tennis

●F シングルス

平成16年7月

田中 淳　優勝

Track and Field

●第59回国民体育大会 新潟県予選会

平成16年8月

3000MSC　2位　渋谷俊和

Fitness

●第2回オールジャパン・ジュニア レスリング大会

平成16年10月

男子ライトハンド+70キロ級
優勝　佐藤 司

男子レフトハンド+70キロ級
優勝　佐藤 司

●第3回新潟県オープン ベンチプレス選手権大会

平成16年10月

男子ライト級ハンド+75キロ級
優勝　細田敦史

Volleyball

●第53回秋季北信越大学 男女バレーボール選手権大会

平成16年11月

男子2部　3位

東日本大学軟式野球選手権大会出場！

軟式野球部主将
情報システム学科3年　堀井翔太

私達軟式野球部は、11月13日から栃木県日光市で開催された、第25回東日本大学軟式野球選手権大会に出場しました。今回の大会で、我が校は、選手宣誓の代表校に選ばれ、個人的にとても緊張しました。結果は1回戦、東関東代表の帝京大学と対戦し、1対9で大敗してしまいました。しかしこの大会に出場するにあたって、私達の部は、新潟県内の予選リーグで1位になり、春に開催された全日本大会の出場権を県内リーグ順位2位で惜しくも逃がしてしまった屈辱を晴らすことができました。今回の東日本大会は、自分達の普段の力差のいい試合をしていたし、最後の最後で相手の底力を見せ付けられました。だから来期はこの経験を生かし、是非ともよい結果を出せるように頑張りたいと思います。

Baseball

Vol. 09

What's up!

Niigata University of International and Information Studies.
Mizuki Journal
2004.12

Check it out!

あなたの投稿をお待ちしています。

みずき会報では、同窓会の皆さんの投稿を募集しています。最近気になることや会社でのエピソード・近況報告など、どんなことでも構いません。下記の要領でみずき会事務所へお送り下さい。皆さんのご投稿をお待ちしています。

●内容／400字詰め原稿用紙1～3枚程度
（できれば写真も同封下さい）
●送付先／住所、氏名、在学中の学科・卒業年度を明記の上
〒950-2292新潟市みずき野3-1-1
新潟国際情報大学内　みずき会事務局行
※Eメールでのご投稿も受け付けております。

dousou@nuis.ac.jp

Don't miss it!

住所変更をお知らせ下さい。

みずき会事務局では、今後同窓会名簿を発行していく予定です。
そこで、現在既にご住所が変更になっている方、転勤やご結婚などでお引越しのご予定のある方は、同窓会事務局宛てに住所変更をお知らせ下さい。ぜひ、ご協力をよろしくお願いします。

不明者リスト

卒業年月	学籍番号	氏　名	卒業年次ゼミ	卒業年月	学籍番号	氏　名	卒業年次ゼミ
10.3	11094044	小松　香織	市岡　政夫	11.3	12095165	日浦　陽子	鷲尾　泰俊
10.3	11094119	水田　義和	區　建英	12.3	11096052	齋藤　忍	區　建英
10.3	12094137	中山　伴行	斎藤　泰則	12.3	12096128	塚野　弘樹	塚田　真一
10.3	12094182	山岸　英仁	樋口　光明	12.3	12096167	松永　智仁	赤木　敏子
11.3	11095040	片桐　崇	佐藤　晟	13.3	12097088	佐藤　秀樹	市川　照久
11.3	11095072	高島　貴子	市岡　政夫	13.9	12094043	小山　岳仁	河原　和好
11.3	11095089	新美　賢太	石川　真澄	14.3	12098185	山崎　亮史	正田　達夫
11.3	12095075	小林弘次郎	鷲尾　泰俊	15.3	12099164	皆川　裕和	樋口　光明

>>>次回Vol.10の発行は2005年4月予定